



それでは早速、質問にお答えしましょう。

今回の質問はこちら。

ペンネーム：金剛寺 さん からの質問  
動物園の動物たちが亡くなった時、  
遺体はどのようにされるのでしょうか？  
肉食獣のエサにされたりしますか？  
簡単なお葬式のようなことはするのでしょうか？

ご質問、ありがとうございます。

赤ちゃんが生まれた時はメディアなどで取り上げられることが多い動物園ですが、動物たちが亡くなった後のことはあまり取り上げられません。今日は、動物たちが亡くなった後のことについて、解説をしていきたいと思います。

動物園で動物が亡くなった時には、まず獣医師が死体の病理解剖を行います。一緒に過ごしていた他の個体や、他の動物たちに感染する可能性のある病気ではないか、より健康に飼育するためにエサや飼育の面で



改善できることはないかなどを探るために、病理解剖はとても大切な仕事です。病理解剖は小さな動物であれば、園内にある動物病院の病理解剖室で、運ぶことのできない大きな動物はそれぞれの獣舎で行います。

死因がわかったら、必要に応じて感染症の対策や飼育環境の改善を行います。一方、解剖後の死体の一部は、骨格や剥製などの標本に生まれ変わって展示や教育活動に使われます。標本にしない部分は、園内にある動物用の焼却炉で焼却をします。動物の死体は衛生面を考慮し、法律に従って処理をしているのです。



動物福祉や感染症予防の観点からも、園内で死亡した動物を他の肉食動物のエサにすることはありません。手順に従って衛生的に処理された肉類を必要な分購入していますので、園内の肉食動物は馬肉や鶏頭を中心とした肉類をエサとして食べています。

また、年に1回は来園者の方にもご参加いただき、「動物感謝祭」を行っています。直近1年間に亡くなった動物を慰霊する式典です。感謝祭は動物園での「お葬式」と言えるかもしれません。